



リレーエッセイ

ハードルを越えて

40

竹下 明希さん (鹿児島市)

アーチェリーを始めて4年目で「全国障害者スポーツ大会 とちぎ大会」に初選出されました。大会では、金メダルを獲得でき、また普段会えない全国の選手たちに会えたことも嬉しかったです。始めたきっかけは、ハートピアかごしまでアーチェリーをしているTV番組を見て興味を持ち、当時通っていた鹿児島

島養護学校の先生に勧めてもらいました。今は仕事の後や休みの日に、ハートピアかごしまで県パラアーチェリー協会の人々と練習しています。仲間と一緒に練習するのがとても楽しいです。毎回同じ打ち方をするのが難しいのですが、それでも真ん中の黄色の的に当てることができると練習の成果がでているんだなと実感できます。子供のころは、体が小さく入退院を繰り返し、体が弱い方だったと思います。歩けるようになったのも少し遅く3歳の頃だと聞いています。それでも体を動かすことは好きで、養護学校では放課後スポーツ活動に参加していました。アーチェリーは腕力が必要なので、ご飯もたくさん食べて体力を付け、ダンベルを使って筋トレにも励んでいます。

仕事は、「キッチンみらいず」というお店でお弁当作りから販売まで行っています。調理は自分の作りたいものを作ることができ、販売は店頭だけではなく鹿児島市役所での移動販売もしています。常連さんもいて、調理・接客どちらも楽しんで働くことができます。日常では補聴器を付けて声を聴きとっているんですが、後ろから声をかけられた時や、換気扇の音などで話しかけられたことに気づきにくいこともありました。働いているうちに環境にも慣れ、今は特に気にすることはありません。また、コロナ禍でマスクが当たり前になり、最初の頃は口元が見えず話が分かりにくいこともありましたが、こちらもだいたいは慣れました。仕事も新しい生活環境も“慣れていく”ということが大切だなと思います。

今目標にしているのは、今年10月の「かごしま大会」で2大会連続の金メダル獲得です。前は目標としていた点数に届かなかったのですが、今回は600点以上の得点を出し、金メダルを獲りたいです！応援をお願いします。



いつも笑顔で頑張り屋だという竹下さん。「小さな体で毎日仕事も練習も頑張っている姿は素敵だなと思います。(キッチンみらいず代表 山下さん)」



キッチンみらいずでは、日替わりお惣菜とお弁当をまごころこめてお作りしています。手作りにこだわり、「毎日食べても毎日おいしい」を目指しています。



psso 社会福祉法人 慶生会

2023年10月

JR谷山駅横に

未来型地域交流センター

『LA+ (ラプラス)』

OPEN!!!

誰でも参加・おせひ・楽しむ・ほごせる

コンセプトは”ごちゃまぜの優しい1街”



TikTok



LINE



Instagram



Facebook

お問い合わせ 管理課：099-263-3665

広告

